

平成28年度 地域説明会 議事録

◎テーマ 「後期基本計画(案)について」

◎日時・会場・出席者数

日時	会場	出席者数
11月17日(木) 午後7時～8時55分	鶴瀬コミュニティセンター	18人
11月22日(火) 午後7時～9時	みずほ台コミュニティセンター	18人
11月24日(木) 午後7時～9時15分	鶴瀬西交流センター	18人
11月25日(金) 午後7時～8時50分	南畑公民館	15人
11月28日(月) 午後7時～9時	水谷東公民館	29人
11月29日(火) 午後7時～8時30分	ふじみ野交流センター	9人
12月 5日(月) 午後7時～9時	水谷公民館	61人

合計 168人

地域説明会 平成28年11月17日開催 《鶴瀬コミュニティセンター》

①

Q 子どもの学力は、どのような取り組みを考えているのか。また、学力調査などをどのように活かしていくのか。

A 教育部長（学校）

教え方を工夫し、意欲を持って一生懸命学べる姿勢というものを養っていきたい。また、学校に通うことの楽しみや生きがいを感じられるように、仲間づくりや仲良く学ぶことを伝える心の教育の充実にも取り組んでいきたい。学校では既に、ピア・サポート運動という仲間を大切にする運動にも取り組んでいる。

学力調査時に学習状況調査も同時に行われている。その結果では、家庭学習が全国平均に比べて少ない傾向にある。家庭学習の充実のため、教育委員会、保護者、地域などが連携し、取り組んでいきたい。

②

Q 学力向上の数値的な目標はないのか。

A 教育部長（学校）

現在、学力・学習状況調査については、全国平均を下回っているので、後期基本計画では、数値目標を全国平均に届くように設定している。

③

Q 健康マイレージ事業について、三芳町では実施しているが、万歩計はもらえるのか。

A 健康福祉部長

現在、制度設計は検討中。歩数などのデータを蓄積するのは埼玉県を中心にシステムを構築する予定となっている。万歩計は貸出しを想定している。

④

Q ボランティアをやりがいや生きがいとしている方もいる。そういった方への見返りのないものはないのか。マイレージとして返ってくれば、もっとやる気が出るのではないか。

A 健康福祉部長

今年の10月から介護支援ボランティアポイント制度として、介護事業所等でボランティアをしていただき、話し相手や簡易的な作業を行うことで、1時間1ポイ

ント、1 日上限 2 ポイントまでを付与している。ポイントが貯まった方は、今のところ現金に換金する事業を実施している。

また、切れ目のない支援の一環として、妊婦健診などでの付与も検討している。今後は、このマイレージ制度に一本化できればと考えている。

⑤

Q 私の町会では、2,478 人、1,030 世帯、約 700 人の高齢者がいる。民生委員は 3 人で、町会長まで出ないと足りない状況にある。民生委員を増やすことはできないか。また、町会で 10,000 円の補助も出しているが、やり手がいない状況にある。

A 健康福祉部長

民生委員は、国からの委嘱となっている。全国一律に世帯数に応じた配置基準のため、市独自では難しい。しかし、民生委員の仕事は少なくなるとは考え難いため、今後も市として支援の仕方などは考えていきたい。

⑥

Q 高齢者あんしん相談センターの主催でオレンジカフェ（認知症カフェ）というものをやっているが、10 人程度のボランティアの方がいる。この方たちを民生委員に推薦できないのか。

A 健康福祉部長

民生委員は、12 月に新たな委嘱を行い、これまでより増員する予定となっている。人数は基準があるため、新たな推薦等ができない状況である。

⑦

Q 差別解消法の推進とあるが、この説明会で要約筆記者がおらず、内容がわからない。手話も完全に理解できない。市が実施するイベントには全て要約筆記者を付けてほしい。

A 総合政策部副部長

市の催しの際には、各種団体にもお知らせをさせていただいている。団体等を通じてご連絡いただき、できる限りの対応をしたいと考えている。

⑧

Q ららぽーとの開業に伴い、市内でも車の数が増えている。それに加え、踏切で詰まってしまう車も多くなってきている。

三芳町に抜ける踏切などは、物流の面からも立体交差が必要なのではないかと。朝晩など混みあっており、長期的な視点や発展のためにも取り組んでほしい。

A 建設部長

立体交差の実現のためには、近隣の方の協力が必要であり、これまでも東上線の協議会でお願いをしている。長期的な視点に立ち考えていきたい。

⑨

Q 防犯カメラを設置するとのことだが、今後どのように増やしていくのか、具体的な数値を教えてください。

A 自治振興部長

市としては、現在、公共施設に設置している。道路に防犯カメラを設置することは、肖像権の問題もある。防犯カメラを町会や商工会で設置していただくなどの手法も考えていかなければならない。詳細は、今後詰めていきたい。

⑩

Q 防犯カメラを設置するという事で市民を安心させてほしい。そのための具体的な提案はないのか。

A 総合政策部長

この計画は今後4年間の目標、目的を定めており、市の最上位の計画となっている。今後議論を重ね、予算化などを通じて具体化していくものであり、4年の中での対応となる。防犯カメラの設置は、様々な課題もあるが、具体化に向けて取り組んでいきたい。

⑪

Q 公園の設置については、どこか具体的な計画はあるのか。また、地域が要望した場合、対応してくれるのか。こういった流れとなるのかを含めて伺いたい。

A まちづくり推進部長

羽沢地区には生産緑地として農地が残っている。最近では、小規模土地区画整理事業として生産緑地も含めた区画整理ができている。公園だけの確保が難しいことから、このような区画整理事業を含めた整備を進めていきたい。

諏訪地区においては、逆線引きで市街化になったところなど、区画整理ができない話をさせていただいている。

また、緑地自体については、緑地基金を活用し、できるだけ確保していきたいと考えている。

⑫

Q 雨水について、今後も浸透枳のやり方を進めていくのか。

A 建設部長

雨水の浸透枳については、浸透の容量を超える雨であると、対応できていない状況もある。そのため、浸透トレンチ層の設置をお願いしている。生活道路にも入っており、有効的な措置であると考えている。

溢れてしまった場合には、止めることは難しいが、河川ならば遊水池、道路では学校のグラウンドや浸透井戸への放流など、一時貯留で対応している状況で、適正な維持管理が必要な状態となっている。

⑬

Q 雨水幹線を主要道路に入れていかないのか。

A 建設部長

今後検討していく。

⑭

Q 防犯カメラの維持管理は誰になるのか。

A 自治振興部長

基本は設置者になると考えている。

地域説明会 平成28年11月22日開催 《みずほ台コミュニティセンター》

①

Q みずほ台駅西口のエレベータは、年度内には出来るとのことだったが、設置をする形跡がなく心配である。

みずほ台駅西口の交番はコミセンのすぐ隣にあるが、ロータリーに面しているのが一番抑止力になる。交番は県の管轄で、市ではどうしようも出来ないとのことだが見解を伺いたい。

A 市長

エレベータは年度内に完成する予定である。

交番については難しい状況である。一方で、警察官の数の問題があり、警察官1人当たりの県民数は埼玉県が一番多い。私が県議会議員の時に警察官の数を増やして欲しいという要望を知事に出しているが、知事は総務省へお願いをし、総務省が警察庁とのやりとりの中で埼玉県に何人増やすかという仕組みになっている。今後もしっかりと要望したい。

A 建設部長

エレベータについては、東武鉄道から今年度のスケジュールが示されている。市でも東武鉄道に皆様の思いを伝え、今年度内に完成するよう申し入れをする。

② エレベータの件は、業者から計画や図面をいただいて説明を受けている。騒音の関係だと思うが、駅ビルマンションの掲示板に掲示してある。

③

Q 子どもの虐待について、どの程度の問題を把握されているのか。

A 健康福祉部長

通報などがある虐待の数は把握している。今のところ事件性はない。市では、小さいころから虐待の目をつむため、例えば、乳幼児健診などの折に家庭も含めた環境を見させてもらい、必要な家庭には支援の手を差し伸べている。また、来年度からは、母子健康手帳の受付を健康増進センターに一本化し、妊娠の時から保健師が話を聞く体制を考えている。

④

Q キラリふじみが出来て15年ぐらいになる。改修も考えてもらっているが、問題は事業だと思う。残念ながら市の予算が事業費に全くかかっていない。各中学校に能だとか芸術監督が教えに行くと、子どもたちは生きいきとしており、いい事業で

ある。それをキラリの貸館料金で細々やっている。

市の予算を計上して、キラリを中心として小・中学校のアウトリーチ活動を充実してもらい、それから内容も充実してもらいたい。

A 市長

市として、キラリを持っていることに誇りをもっている。平田オリザ先生とお会いした際に、キラリやキラリで活動する皆さんの素晴らしさのことを言われ、意欲を強くした。キラリは、指定管理ということで、キラリ財団が運営をしている。市として自主興行などの支援をするとか方法はあろうかと思う。意見をしっかりと前を向く材料とさせていただく。

⑤

Q 道路交通環境の整備で、東上線の西側は公共交通から置き去りにされている。市内循環バスに乗るにも、線路を越えないと乗れないので不便である。西口まで路線を延長する計画はあるのか。

A 建設部長

西側については、過去に走っていた経緯があるが、様々な事情のなかで廃止した。今の予定では市内全域をデマンド交通で対応して、実証検証を行いたい。検証の結果、西側の方が多く乗られるということであれば、そういう選択肢もあるが、まずは、どの地域で、どのような方が乗るのかを検証する予定である。

⑥ 市役所やキラリに行ったりする際、東上線で鶴瀬へ行って、鶴瀬から「ららぼーと」行きのバスに乗っている。市内循環バスを西口にも延ばしてほしい。市役所のほうに行く足を確保していないので、なんとか検討してほしい。

⑦

Q 昨年、町会で市主催の避難訓練に参加した。関沢小学校が避難所になっているが、設備や備品の管理がずさんで災害用品が使えるのか心配である。定期的に管理したほうがいいのではないか。町会は、市で準備している防災用品の一覧表があれば、重複して準備しなくても済む。

また、避難所を開設する場合、町会でどう支援をしていけばいいのか。今後の計画が市としてどんなものがあるのか。具体的な進め方を聞きたい。

A 自治振興部長

各避難所の防災倉庫は整理をしている。現実には災害が起きた時に避難所の備品を使っただけなのは、避難所を運営する町会と地域対策本部の職員になる。勝瀬小学校で11月に実施した防災訓練の際、各備品を全部出したので、一度そういう機

会を持っていただければ、一緒にやらせていただきたい。避難所については、地域防災計画を見直す中で、個別の避難所のマニュアルを作っていきたい。

災害が起きた時には、地域にも手伝いをしていただきたい。食糧も各避難所分では400名程度しかないため、自助で用意していただくなど、町会でも日頃から周知等のご協力をお願いしたい。

⑧

Q 選挙の投票権が世帯主宛で各自に来ないので、自覚が出にくい。個人宛にいただけるとよい。

A 総務部長

選挙の関係は選挙管理委員会が担当となる。富士見市の場合、経費削減という意味で世帯主宛に通知を出している。いただいたご意見は所管に伝える。

⑨

Q 通常、我々が期待したい市の姿があり、それに適合する計画がある。大きな数値を使い少しでも見えるようすれば理解しやすい。

4年後の人口と65歳以上がどれくらいで、どういう考えを持っているのか聞きたい。

A 総合政策部長

本日は、4年間のポイント事業について話をさせていただいた。基本構想では、目指していく将来都市像を掲げている。様々な施策を推進し、いい街を目指していく。

人口について、65歳以上の人口は平成28年4月で23.7%、4人に1人に近づいている。将来推計に基づくと、高齢者人口は増えるので、介護や健康をしっかりと見ていく。全体の人口は当然減っていくが、この4年間は今の状況が続いていくと想定している。総合戦略の中で人口減のくい止めの計画をしており、それも含めて後期基本計画で取り組んでいく。

⑩

Q 学力調査で全国平均を下回っている要因をどう捉えているのか。

A 教育部長（学校）

学力テストの結果分析は、様々な角度から見なければならぬので、一概に決めつけるのは難しいが、富士見市は、学力の上位者が若干少ないので、平均を引き上げるといった傾向が弱い。国語についてはあまり好きではない子が多い傾向にある。学校としては、学ぶことが好きだと思える子どもを育てなくてはならない。

もう一つは家庭学習で、家庭での学習時間が全国に比べて富士見市は短いという結果も見られる。量や質、家庭学習時間の確保など、家庭での協力を得ながら総合的に学力を上げていきたい。

- ⑪ 陳情として、ジュニアオーケストラを立ち上げてほしい。

地域説明会 平成28年11月24日開催 <<鶴瀬西交流センター>>

①

Q 富士見市は昼夜間人口比率が日本一でベッドタウンである。住みやすいということを中心に前面に出したらどうか。

A 総合政策部長

富士見市はこれまでベッドタウンとして発展してきたが、活力を維持していくには交流人口も必要である。道路、自然保護など総合的な土地利用を進め、調和した住みよいまちづくりを進めていくことをコンセプトにしている。

②

Q 全国学力調査で富士見市の学力は低いので、地域の方々や近隣大学の学生を積極的に活用したらどうか。また、考える力を身につける学習を進めてほしい。

A 教育部長（学校）

淑徳大学の学生や地域の方々に協力いただいている。また、自ら考える力を育てるアクティブ・ラーニングも積極的に取り入れていく。

③

Q 防災リーダーの養成は、人口の0.5%程度まで増やした方がよい。

A 自治振興部長

防災リーダーについては、各地域で講習会に参加した方が概ね3名はいてほしい。いざという時に、防災リーダーを中心に地域で動いていただけるよう取り組みを進めていく。

④

Q 和光富士見バイパスの延伸に伴い、浦和所沢バイパスとの交差点付近の産業誘致に取り組んでほしい。

A まちづくり推進部長

和光富士見バイパスは現状進んでいないが、水谷柳瀬川の産業等の誘致と一緒に検討していく。

⑤

Q オレンジリングの取り組みなど、認知症サポーターを増やしたほうがよい。

A 健康福祉部長

認知症サポーター養成は引き続き取り組んでいく。認知症は症状が重くならないように初期段階からの把握・支援に力を入れていく。併せて、介護予防や自主活動グループへの支援、介護ボランティアポイントによる地域の介護力向上にも取り組み認知症対策を進めていく。

⑥

Q 東武東上線の西側エリアには公共交通がなく、買い物で苦勞している方も多い。デマンド交通の実証実験を進め、公共交通を充実してほしい。

A 健康福祉部長

高齢者が買い物で足がなく困っていることは、地域交通以外にも解決策がないか検討していく。

A 建設部長

市内循環バスが西口を運行していたこともあったが、踏切を越える関係で定時運行できないため平成 20 年に廃止した。空白地域や困っている方もいるため、デマンド交通の実証実験を行い、実態を把握して検討していく。

⑦

Q 鶴瀬駅東口は計画的に市民に役に立つ施設を誘致してほしい。

A まちづくり推進部長

鶴瀬駅東口はららぽーと開業により若い方の利用も増えてきたため、魅力的なまちづくりとなるように取り組んでいく。

⑧

Q ふるさと納税を頑張してほしい。

A 総合政策部長

ふるさと納税については、華美にならないよう全体のバランスも踏まえながら検討していく。

⑨

Q つるせ台小学校近辺に 100 名規模の集会施設を建ててほしい。それが無理であれば、つるせ台小学校体育館に冷暖房設備と机を設置してほしい。

鶴瀬西 2 丁目西町会に防災訓練、その他集会を行うための集会所を設置してほしい。

理由は、この地域には鶴瀬西交流センターしかなく、活動団体、サークルが多いため施設予約が容易ではない。町会やまちづくり協議会の活動をしていく場所がない。敬老会を実施するにも体育館では机がない上に、飲食も禁止になっていて継続していくことが難しい。また、町会で予定していた日時に入間東部地区将棋大会の優先予約が入った。町会やまちづくり協議会の活動は一般のサークル活動ではない。予約システムによる重複の抽選もランダムなのはどうかと考えている。

A 自治振興部長

入間東部地区将棋大会は、2市1町が持ち回りで開催している。今年度は富士見市が開催市で、文化協会の一員である将棋連盟からの依頼により市民文化祭の位置付けで開催をすることで調整をした。

⑩

Q 学校の体育館は飲食禁止、校庭では火気厳禁と言われている。敬老会は飲食をしながら楽しんでほしいができない。また、火気厳禁ではイベントもできない。集会所では高齢化もあり、椅子がないと参加を辞退する人もいる。体育館や校庭を利用できるようにしてほしい。施設に関しては、先行予約している全体スケジュールの見える化や予約に関する優先順位はどうなっているのか。

A 教育部長（総務）

体育館内での飲食は、学校ごとに運用が異なる場合があるため、確認する。施設予約に関しては、第一に公用利用、続いて使用料免除団体・市内団体、市外・目的外団体の予約となっている。予約システムによる重複抽選に関しては、利用者から様々な意見をいただいていることから、町会などに対してどのような対応ができるか、検討を始めたところである。

⑪

Q 本庁舎の耐震化はどうなっているのか。また、トイレが快適ではない。来庁者が快適に利用できるよう配慮いただきたい。

A 総務部長

本庁舎の耐震化は平成 20 年度に実施している。トイレは洋式化等の対応をしているが、今後も快適に利用いただけるよう努力する。

⑫ 限られた時間の中での発言になるため、一人あたりの質問時間は制限した方がよい。

地域説明会 平成28年11月25日開催 <<南畑公民館>>

①

Q 運動公園の充実をどう考えているのか。

A 教育部長（総務）

運動公園については、市長のビジョンにも充実が掲げられており、その趣旨を含め検討に入りたい。

②

Q みずほ台東通線は後期基本計画内でどの程度進むのか。

A まちづくり推進部長

みずほ台駅東通線については、みずほ台区画整理境から大應寺のある道路（市道第5113号線）までの区間の地権者説明を実施し、小規模区画整理事業と併せた整備手法で進める予定。多くの地権者からは承諾をもらっているが全員ではない。以降の区間についてはもう少し時間がかかる予定。

③ 早く全線整備をしてほしい。しののめの里整備の条件でもある。財政状況もあるだろうが、積極的に進めてほしい。

④

Q 土地利用構想図にある赤の区域は何か。

A まちづくり推進部長

新しい活力の創出ゾーンと位置づけており、新しい産業や都市の活力を向上させていくためのゾーンとしている。

A 総合政策部長

市全体を見て、各地域の特長を活かした土地利用を進めていく考え。和光富士見バイパスが延伸されれば、シティゾーンと併せてこの地域の魅力は上がると思う。具体案を含め実現には時間がかかると思うが、市としては大切な土地と認識しており、活用を探るため、将来のビジョンとして土地利用構想図に表現している。

⑤

Q 南畑小学校の生徒は市内全校生徒の約4%程度しかいない。さいたま市では大学生が塾に行けない子を教えている。先生に今よりさらに残って教えてもらうのではなく、希望のある生徒に対し校舎を活用して、下校後にもう1回勉強させる機会を

設けてはどうか。貧困のために塾へ行けない、ではおかしいと思う。

A 子ども未来部長

アンケートをとると、生活困難世帯は無料の塾があれば使いたいとの声が多い。大学生のボランティアなどを募り、地区ごとに学習支援が対応できるよう計画していきたい。

A 教育部長（学校）

学力の保障は義務教育で重要な点。学校で基礎を教え、塾などは進路の幅を広げるためのもので家庭教育の部分。補習はやっているが、学校以外の勉強時間が全国平均より低い状況であり、今後検討の必要はある。学校教育の中身の充実と家庭教育支援を進めていく。

⑥

Q 医療関係者は、あいサポート運動に関心がないように思う。関係団体などを通じ、病院関係者にも周知してほしい。

A 健康福祉部長

あいサポートについて、医療機関への投げかけも行っている。先日も聴覚障がい者の方をお呼びして講演会を行った。特に若い医師などには理解が進んでおり、徐々に広がりつつあるものと認識している。今後も市として医療機関と連携し周知に努めたい。

⑦

Q 市内3駅での立体交差は考えていないのか。朝夕は開かずの踏切で、緊急車両が動かない。今は電車の本数も増えている。全てとは言わないが、みずほ台や鶴瀬などのメイン路線で、立体交差を検討してはどうか。

A 建設部長

立体交差の問題については市も認識している。検討もしているが、なかなか前に進まないのが現実。東上線沿線自治体が加入している改善対策協議会の中でも高架化などを要請している。

⑧

Q 都市計画法 34 条 11 号の区域や特定環境保全公共下水道の整備について、見直しをお願いしているが、検討に時間がかかり過ぎている。地価など様々な影響が出る前に早く決断してほしい。

びん沼川については、下流の水害防止のため土地を提供し、調節池・放水路整備

に協力した経緯がある。現在、川沿いの道路では路上駐車が多くすれ違えないし、ゴミが非常に多い。県は草刈りに併せてゴミを集めるだけで、なかなか片付けてくれない。県が片付けるべき。川沿いの道路は県と協議し、市道として管理し、駐車禁止措置と舗装を進めてほしい。

A 建設部長

都市計画法 34 条 11 号区域については、まちづくり協議会からも意見をいただいている。今後、庁内の検討委員会でスピード感をもって検討を進めたい。

釣り客の駐車問題については、県も市も問題として認識している。県への要望は担当課に確認したい。びん沼川地域の整備も考えながら、課題を解決していきたい。

A 市長

青年の家跡地の活用を起爆剤として、南畑地域の賑わい、路上駐車、川沿いの道路の市道化などを併せて、地域の方から意見をいただきながら考えていきたい。

⑨

Q びん沼川について、国は絡むのか。釣り人を取り締まるときに、国土交通省絡みと言われた。

A 市長

管理は県が行っている。

⑩ 民間バス路線の充実により直接市役所に行けるようになったが、医者に行くときなど、現実的には使いづらい。いつかは車の免許を返上しなければいけないことを考えると、公共交通を壊さない程度でデマンド交通を進めてほしい。

⑪

Q 市民総合体育館の休館に伴い、現在は三芳町やふじみ野市の施設を借りて大会などを開催しているが、相当距離がある。スポーツ団体でも高齢化が進んでおり、参加人数が減少している。5 月連休明けにもオープンできるとのことだが、体育館は 1 日も早く再開してほしい。

A 教育部長（総務）

体育館の工事は当初の目標通りに進んでいる。3 月までにはメインアリーナとサブアリーナの工事が完了予定で、4 月は備品整備などを予定している。5 月連休明けにオープンできるよう進めている。

⑫

Q 東消防署前に右折帯をつくったことで歩道が狭くなり、通学に支障をきたしている。地元からも問題として指摘しているが、県にもう一度現場を確認してもらい、検討を進めるよう市からも県へ要望してほしい。

A 建設部長

現地を確認し、改善に向けて県と協議を進めていきたい。

⑬

Q 南畑ふれあいプラザの利用者をみると、農業者だけではなく公民館の分館的な利用が多い。そのため、地域の人が使えない時があり、元の農業センターに戻してくれないかとの要望がある。市の考えはどうなのか。

A まちづくり推進部長

現在の利用形態は本来の目的とは違っており、検討はしている。いずれは6次産業など農業的な利用をしたいと考えている。

⑭ 考える時間は短くて検討しないと南畑ふれあいプラザの建物も老朽化してしまう。スピーディーをお願いしたい。

地域説明会 平成28年11月28日開催 <<水谷東公民館>>

①

Q 前沼公園では、災害時に手動発電で利用できる自動販売機が無償で設置され、好評である。このところ、公園のトイレやベンチにいたずら書きがされる事態が頻繁に起きている。防犯カメラ付き自動販売機があると聞いているので、検討してはどうか。

A 自治振興部長

防犯カメラ全体の観点からすると、犯罪を防ぐため、その必要性は認識している。一方で、不特定多数の方を撮影することから、肖像権の問題もある。現在市では、公共施設に監視カメラを設置しているが、道路等には設置をしていない。肖像権の問題もあることから、地域が中心となって設置をしていただき、市は設置に対する補助をしていきたい。また、現在、防犯に関する計画作りも行っている。防犯カメラの設置場所などの指針も定めていきたい。

A まちづくり推進部長

前沼公園に限らず、各公園でいたずら書きや、トイレの放火が増えている。これを受けて、警察にパトロールの強化要請や、市の巡回員によるパトロール強化を実施しているが、結果的に夜中にいたずら書き等が行われている。

防犯の意味では、防犯カメラ付き自動販売機を設置することは有効であることから、他市の状況も調査して検討していく。

②

Q 都市計画道路について、富士見橋からまっすぐに浦和所沢バイパスに伸びると伺ったが、いつになるのか。

A まちづくり推進部長

都市計画道路の件は、平成29年度に調査委託を予定している。内容は、路線測量や地質調査等である。この調査結果を受けて、以降の整備に繋げていきたい。

③

Q 富士見ニューライフ前の富士見橋へ向かう道は、みずほ台から榎町へ下ってくる際は右側にも歩道があるが、榎町に入ってから、柳瀬川方面に向かって左側しか歩道がない。さらに、富士見橋を渡った後には、反対側の右側へ再度渡らなければならず、歩行者にとって交通量の多い道を渡るのは危険である。都市計画道路の件と併せて、歩道を整備してほしい。

A 建設部長

用地の関係で片側にのみ歩道がついている。都市計画道路の整備計画の時期に改善の検討をしていきたい。

④

Q 富士見市には、子ども医療費助成制度があるが、水谷東地域は志木市に近い。志木市の医療機関への拡大も検討してほしい。

A 子ども未来部長

子ども医療費の窓口払い免除については、これまで富士見市、ふじみ野市、三芳町の2市1町合同の取り組みで実施している。しかし、志木市も市民病院がなくなり状況が変化しており、志木市民が富士見市の病院を利用する際は、窓口払いが不要となっていることもあり、検討課題となっている。

⑤

Q 児童館は、鶴瀬やふじみ野を中心に設置されており、水谷東地域から子どもが気軽に利用できる場所がない。近くの志木市の児童館を使えるようにしてほしい。

A 子ども未来部長

昨年、ふじみ野駅前のピアザ☆ふじみ内にふじみ野児童館ができたが、水谷東地域から最も近い児童館は、諏訪児童館になり、利用するには遠方である。公民館などでは児童を対象にした事業も行っている。また、児童館は遊びの学校として、出前で前沼公園に出向くなど、ソフト事業の充実も進めている。

⑥

Q 県道ふじみ野朝霞線は、歩道が途切れ途切れになっていてベビーカーを押していると危険を感じるので、改善してほしい。埼玉県からは、すぐに整備することは難しいという回答であったとのことだが、市から県へ引き続き要望してほしい。

A 建設部長

県道ふじみ野朝霞線の歩道は、継続して県へ要望を行っていく。

⑦

Q 台風9号による水害が起き、避難勧告が出た。今後も今回のような状況が考えられる。以前、避難所になっている水谷小学校へ、岡の坂交差点を經由して歩く試みをしたが、歩道橋を渡った先に歩道が殆どないので、整備してほしい。また、避難所が水谷小学校となっているが、水谷東小学校の2階にも避難できると思うので、避難場所も検討してほしい。

A 建設部長

岡の坂からの県道沿いの歩道整備については、避難という観点からも県へ引き続き要望をしていく。

A 自治振興部長

避難所については、水谷東地区は水谷小学校への避難となる。特に水害の際は、水谷小学校に逃げる必要がある。しかし、避難先に明確な決まりはないので、水害の状況によっては、水谷東小学校への避難もあると考えており、柔軟に対応していきたい。

⑧

Q 水谷地域の市街化にあわせて雨水対策を行っており、今年度はさくら記念病院付近で整備が行われている。整備された道路は通学路になっているが、交通量が増えて危険を感じる。埋設されたU字構上の空いている部分を活用して安全対策ができないか。

A 建設部長

雨水幹線の関係で、大排水路の整備をしている。ご指摘の場所は通学路になっているので、埋設したU字構上に2年かけて歩道整備を行うことになっている。来年度には小・中学校の道路のところまで歩道ができる。

⑨

Q 富士見ニューライフ裏の東武東上線鉄橋の騒音については、志木市と共同で提案をされたという話も聞いているが、経過はどうなっているか。富士見ニューライフでは、自主的に防音や保温、耐震を兼ねてアルミサッシの全面交換を進めている。

A 建設部長

鉄橋の騒音は、協議会を通じて毎年東武鉄道へ要望している。東武鉄道からは、平成28年3月に、鉄橋の上のレールをロングレールに改修済みとの回答をいただいている。

⑩

Q 鉄橋には音を遮断しなければならないひずみがあり、それが問題である。ロングレールと鉄橋の騒音は直接関係していない。

A 建設部長

再度確認します。

⑪

Q 榎町からの通学路になっている 1 キロ弱の道路が、デコボコ状態になっている。また、水路が側面にあり、大きな亀裂が入っているので大変危険である。

A 建設部長

ご指摘の危険箇所は、まず部分補修を行っていききたい。

⑫

Q 榎町から水谷東公民館までの距離や、病院までの移動手段を考えると、デマンド交通を実現してほしい。

A 建設部長

デマンド交通は、事前の予約制による使い方など、丁寧にお知らせして、しっかりと準備したうえで取り組んでいきたい。

⑬

Q 水谷東地域は、水害の問題がある。水害については 20 年前に基本的に解決したが、気候変動により、今後どのような災害が起こるかわからない。今回の後期基本計画という節目の場で、新たな水害対策を検討してほしい。

A 市長

市では、地域防災計画をすでに持っているが、気候変動に伴う雨量増大問題にあわせ、地域防災計画の見直しで反映していききたい。

⑭ 要望として、まず、避難所に関して、状況による判断とのことだったが、実際に判断するのは困難。予めケースごとの避難方法を示してほしい。また、水谷小学校への避難は、2 次災害が起きる可能性があるので、公民館の 2 階を臨時で開くなどしてほしい。加えて、避難勧告や避難指示はどのような場合に出すのかを定義してほしい。また、これらを地域防災計画の見直しの中で検討してほしい。

次に、県道ふじみ野朝霞線の各問題は、引き続き対応をお願いしたい。

最後に、これからの高齢化社会を迎えるにあたって、まちづくり協議会などで地域を支える必要が増している。水谷東地域では、来年から地域支え愛隊が発足することになった。このような取り組みに助言や支援をお願いしたい。水谷東地域の取り組みが定着することによって、他の地域も同様の取り組みを行うきっかけにもなる。

地域説明会 平成28年11月29日開催 <<ふじみ野交流センター>>

①

Q 粗大ごみを出す際、聴覚に障がいがあるとFAXでのやりとりが必須なので、担当課のFAX番号を載せてもらいたい。

A 自治振興部長

担当である環境課のFAX番号をお知らせするようにする。

②

Q 市道第5101号線の整備の進捗状況は。

A 建設部長

勝瀬交差点から区画整理境の市道第5101号線は、新設道路と既存道路に分けて整備を進めている。現在は新設道路について、地権者と用地交渉を進めている。

③

Q 勝瀬小学校の通学路で狭隘な道路は、一方通行にするなど、交通規制を検討してほしい。

A 建設部長

交通規制は警察の所管になるので、警察に相談させていただきたい。

④

Q 地産地消を謳っているが、市内産野菜を学校給食にどの程度使用しているのか。

A 教育部長（学校）

野菜は、カブや小松菜を中心に学校給食で使用しているが、給食は9千食から1万食を作っているため、市内産だけでの供給は難しい。お米は100%市内産を使用している。給食全体の重量ベースで見ると、市内産は40%を超えている。また、南畑地域の特産である梨をゼリーに加工して給食に出している。

⑤

Q 運転免許証を返納した場合、交通手段がなくなる。市の補助制度はあるのか。

A 健康福祉部長

例えば、市内循環バスの無料乗車パスや健康マイレージのポイント加算など、今後検討していく。

⑥

Q 市道第 904 号線などに自転車道の整備をお願いしたい。

A 建設部長

自転車道は歩道と車道に整備する方法があるが、一定の幅員が必要にある。市道第 904 号線は幅員が狭いため、整備ができない状況。本来、自転車は車道を走るので、その周知もしていきたい。

⑦

Q 生活道路が狭隘で凹凸も見受けられる。整備や修繕をお願いしたい。

A 建設部長

市でも週 3 回以上、道路パトロールを実施し確認しているが、地域の皆さんからも情報提供をいただき、協力しながら修繕を実施していく。

⑧

Q 線路を境にした西地域には市内循環バスの路線がないので、早急に見直しを検討してほしい。

A 建設部長

まずはデマンド交通の実証実験を行い、富士見市に適した公共交通網の整備を検討していく。

⑨ 防犯灯の LED 化は明るくて良い。今後も進めてほしい。

地域説明会 平成28年12月5日開催 <<水谷公民館>>

① 配布資料のスクールソーシャルワーカー等の表記はわかりにくい。次回の説明会等では精査してほしい。

②

Q 高齢化率が上がっていくなか、やんちゃな高齢者が増えてくる。現在の活動場所が、びん沼荘、老人クラブ、サロンぐらいしかないので、そういった方への施策も必要ではないか。

A 健康福祉部長

現在、日常生活支援総合事業におけるデイサービスなど、本人がサービスを選択する制度を作っており、新たな仕組みを作っていきたい。

③

Q 高齢者の事故が増えており、運転免許証の返納も考えなくてはならない。しかし、現状の富士見市の交通では、車がないと身動きがとれない。バスだけでは対応が難しいので、交通システムを充実してほしい。

A 建設部長

市内循環バスの特別乗車証の交付のほか、平成29年度からのデマンド交通の実証実験を行うなかで考えていきたい。

④

Q 水子地区はミニ区画整理が進んでいるが、小さい公園しかできない。環境や交流の面からも大きな公園が必要である。休耕地を借りるなどの活用ができないのか。

A まちづくり推進部長

水子地区は小規模ではあるが、生産緑地も取り込んだ開発を進めており、現在、2か所で整備を行っている。その中で公園も確保されている。また、農地もきちんとした区画に整備されている。さらに2か所ほどミニ区画整理の話を進め、整備していきたいと考えている。また、緑の確保対策も行っている。

⑤

Q ふるさと納税の歳入と市外に流出した額はどれくらいか。

A 総合政策部長

昨年、ふるさと納税による歳入が1,800万円程度、市外への流出は4,000万円代である。地方の応援という意味合いからも都市部ではマイナスとなる傾向ではあるが、マイナスを圧縮していきたい。

⑥

Q 石井緑地公園の清掃を町会で行っているが、お茶代など、市からの補助が全くない。緑の募金がたくさん余っていると聞いているので、そこから出せないのか。

A まちづくり推進部長

町会や生態系保護協会などの協力をいただいて下草刈りを行っているが、大きな木などは市のほうで対応しているので連絡してほしい。お茶代は出ない状況であるが、ご協力いただきたい。

緑の募金は町会長連合会に一部戻すような仕組みになっている。緑地保全基金については、お借りしている市民緑地の買い取りに使っていきたい。

⑦

Q 交通安全母の会や集会所の防火管理者講習などが個人負担となっており、市の補助がない。

A 自治振興部長

防火管理者の件は、前向きな検討をしていきたい。

⑧

Q 水子鶴馬通線はいつできるのか。交通量が多く危ない状況である。

A まちづくり推進部長

水子鶴馬通線は、小規模区画整理と都市計画道路を併せて整備できないか検討しているが、地権者もいるため時間がかかる。現在は、富士見橋通線からの整備を進める予定である。

⑨

Q 高齢化について真剣に受け止めないと将来が不安である。市と社会福祉協議会、町会、まちづくり協議会、警察などが連携して、住んで良かったと思える施策を入れてほしい。

A 市長

市は10年20年先を示すことが役目である。高齢化は、医師、歯科医師、薬剤師

や介護職員、町会、まちづくり協議会など、地域での総合力で支援することが必要となる。それらの力を束ねていく施策が必要である。

⑩

Q 学校で高齢者をいたわるカリキュラムを取り入れてほしい。

A 教育長

核家族化が進んでおり、高齢の方とのふれあいが減少している。それをカバーしていくのも教育の仕事であり、徳育の充実を進めたい。

⑪

Q 梨などPRするために駅を利用してはどうか。

A まちづくり推進部長

梨などは産業振興課でマップを作成してPRしているが、数に限りがある。梨出荷組合などと協力してPRしていきたい。

⑫

Q 本庁舎の障がい者用駐車スペースは、雨が降った際など、中に入るのが大変な場所にある。利用者の意見を伺いながら検討してほしい。

A 総務部長

少し遠い場所にあり、ご不便をおかけしている。負担が減らせる対応の検討をしていきたい。

⑬

Q 家の樹木が伸びている件で、近隣トラブルになっている。市に話しても「話し合い」での解決を求められる。何か手立てはないか。

A 自治振興部長

民・民の問題となるため、市での対応は難しい。